

## 「旧鳥羽小学校校舎の活用方法について（案）」に対するご意見について

「旧鳥羽小学校校舎の活用方法について（案）」に対する意見募集を平成27年12月1日から18日まで実施したところ、総数3人のうち、有効意見数2人のご意見をいただきました。

このたび、お寄せいただいたご意見と、それに対する市の考え方を以下のとおり取りまとめましたのでご報告いたします。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

意見の概要	意見に対する市の考え方
<p>○郷土資料館としての活用</p> <p>三の丸が造られてから多くの観光客がゆっくりと（旧鳥羽小の）運動場まで登ってきます。登りきった所で運動場をみて「これだけかな？」とすぐに下っていきます。鳥羽小学校とは関係のない、また市では何も手をつけられないかもしれませんが、城跡も含めた資料館として運動場まで上がった人々が自然と郷土資料館に回遊していく工夫があればと思います。</p> <p>多目的ホールに入るのに運動場から近い場所からの入場は可能となるのでしょうか。</p> <p>鳥羽城の城主は、やはり九鬼氏になりますが、荒くれの城主のイメージがあります。時代に応じた数奇者の文化人であった一面も展示することで、イメージも変わるのではないのでしょうか。</p> <p>今ブームの、山城ブーム、恐竜ブームなど、お年寄りから幼い子供までに親しめることのできる文化財のある鳥羽になればと希望します。</p> <p>一緒に散歩に行く孫にたくさんの方がこの旧小学校に来るのにどうすれば良いかなと尋ねたら、すぐに「日本一怖いお化け屋敷したら絶対がいい。または楽しいミュージアム」</p>	<p>ご指摘のように城跡を訪れる人が、旧校舎にも足を伸ばしていただけるよう、資料館として整備し、鳥羽城に関する資料なども展示・紹介できるように図っていきます。</p> <p>通常の入出口は1階としますが、多目的ホールで催し等を行う場合等などは横の入出口からも出入りは可能とする予定です。</p> <p>九鬼氏については、「海賊衆」という言葉から、荒くれものといったイメージが強いため、今後も九鬼氏についても調査を進め、その実像を明らかにしていくとともに、展示できるような資料の収集に努めるなど戦国屈指の水軍大将として九鬼氏をPRしていきたいと考えております。</p> <p>鳥羽にある貴重な歴史遺産を学び、紹介できる施設の整備や、それらを紹介する講座や刊行物の発行など、充実を図っていきます。</p> <p>現状の建物は暗いことから、子ども達が怖いと感じるような状態ですが、改修して親しみをもっといただける施設を検討していきます。</p>

意見の概要	意見に対する市の考え方
<p>○鳥羽市の歴史、文化、生涯教育の発信基地としての旧鳥羽小学校</p> <p>旧鳥羽小学校は昭和初期のコンクリート建築物の草分けであり、内部に関しては昭和の歴史を感じとることができるし、講堂においては昭和の歴史の生き証人となる奉安庫の存在等貴重な様式が残っています。</p> <p>鳥羽駅周辺をみれば、海岸線は観光施設、船の発着場により人の流れはあるように見受けられます。旧市街地と言われる岩崎・錦町・本町・大里・中之郷は人の流れは少ないようです。しかし、ここに歴史を大切にしつつ新しさを求めていく郷土愛あふれる町の形成には旧市街地に人の流れを作っていく必要があります。</p> <p>日和山ー樋の山ー旧鳥羽小ー広野邸まで今の道路を歴史道と名付け、随所に歴史物語を作り、地域の人の歴史に対する思いが醸し出される町、その拠点となるのが旧鳥羽小学校です。</p> <p>旧鳥羽小学校の活用は歴史文化資料館と防災拠点の活用が考えられます。</p> <p>少し踏み込めば各教室をうまく利用する一つの考え方として学びの場の活用が考えられます。</p> <p>文化・伝統、食の教室の開催、市外、県外からも人が呼べる本物志向の教室、しかも数泊で学べる内容の設定が考えられます。歴史・文化・伝統がその土地に住んでいる人達の生き様と解釈するなら、海岸線から中へ入り、歴史道を歩けば鳥羽の歴史・文化を感じ取れる町であればと思います。</p> <p>倉庫代わりの空間ではなく、人が集まり生き生きと活動できる空間、風光明媚な景色を眺めながら夢を語れる場所であってほしいです。</p>	<p>旧鳥羽小学校の活用方法の一つとして、歴史資料館を検討しております。また、旧校舎は、高台に位置していることから、重大な災害時には活用できると考えております。また、市民や観光客の皆様の学びの場として、有効活用したいと考えております。</p> <p>内部については昭和の歴史を感じることでできる建物ですので、改修にあたり内部の意匠などをできるだけ損なわないように計画を検討しています。</p> <p>また、旧校舎の整備により、鳥羽城跡を中心として、伊良子清白の家や鳥羽大庄屋かどや等の施設なども含め、中心市街地を周遊できるようなくみを関係機関とも連携して取り組んでいきたいと考えています。</p>